

開講科目名 / Course	看護アセスメント学実習	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	藤内 美保	
担当教員名 / Instructor	石田 佳代子、藤内 美保、山田 貴子、内倉 佑介	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	実習	
科目の目的と概要	対象者と援助的人間関係を築きながら、身体面・心理面・社会面の状態を総合的に捉え、看護診断を明らかにし、看護過程を展開する基礎的能力を修得すると共に、看護職に求められる基本的姿勢を身につける。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者を尊重し、援助的人間関係を形成することができる。 2. 対象者の多様な側面から情報収集し、対象者の強みや望みを考慮しながら看護の視点からアセスメントし、看護診断を導くことができる。 3. アセスメントに基づき個別性に配慮した看護計画を立案し、実施及び評価することができる。 4. 看護職に求められる基本的姿勢を身に付け実施できる。 	
DPとの対応	1.確かな看護の力・技術力、2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3.心豊かな人間性と倫理観	
授業計画	<p>実習期間：2021年12月6日（月）～12月20日（月）</p> <p>実習施設：大分県立病院、大分赤十字病院、大分大学医学部附属病院のいずれかの施設に配置。</p> <p>実習方法：原則1名の受持ち患者に関わり、患者の理解を深め看護過程の展開を行う。</p> <p>日々の実習目標、実習計画を立案し、臨床指導者、教員の指導のもとにケアを実施しながら、アセスメント、看護診断、看護計画、実施、評価を行う。Daily カンファレンス、中間および最終カンファレンスを実施し、課題を見出し修正する。</p>	
その他の授業の工夫	患者や家族、看護師、多職種が活動するリアルな実習現場で、理論と実践を統合する経験ができる。適宜、臨床指導者や教員のアドバイスを個別に受けることができ、深い学びができる。	
時間外学修	2週間の実習計画を立案するとともに、日々の振り返りと、翌日の実習目標を明確にし、看護過程に関する実習記録を整理しまとめる。	
評価方法と評価割合	原則100%出席とする。実習目標の到達度、実習内容、実習態度、実習記録、カンファレンス内容、個人面接により総合的に評価する。実習中、参加できない場合は、担当教員に連絡し、指示に従う。無断欠席した場合は、それ以降の実習に参加ができないことがある。	
テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2]（医学書院）</p> <p>NANDA-I看護診断定義と分類2021-2023（医学書院）</p> <p>看護診断を導く情報収集・アセスメント 第6版（学研）</p>	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	藤内美保：病院の看護師 石田佳代子：病院の看護師 山田貴子：病院の看護師 内倉佑介：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	病院に勤務する看護師
実務経験をいかした教育内容	臨床現場で活動する看護師と看護の実務経験をもつ教員が連携し、具体的な看護過程の展開や看護ケア、看護職としての基本的な姿勢や倫理観について教授する。	